



<市町村探訪>

「歴史・文化を活かした地域の振興を目指して」

～中央市街地整備の取り組み～

(阿見町)

～当地区の歴史～

当地区は、戦前から海軍の基地の町として栄えてきましたが、戦後は軍の解体によりその点在する広大な敷地を、阿見町役場等の行政施設や茨城大学等の教育施設、民間生産工場、自衛隊駐屯地などに段階的に活用され、現在では中心市街地としての役割を担っている地区であります。



昭和20年8月頃の霞ヶ浦周辺地図
(主な海軍施設)

霞ヶ浦周辺には、海軍施設が多数点在していた。

- (1) 霞ヶ浦航空隊本部 (2) 海軍気象学校
- (3) 海軍酸素学校 (4) 第一海軍航空隊舟島倉庫
- (5) 海軍射場 (6) 第一軍需工場(しょう)
- (7) 掩体壕(えんたいごう) 地区 (8) 海軍航空要員研究所
- (9) 第10海軍航空隊司令部地下壕 (10) 北砲台
- (11) 第一海軍工廠工員養成所 (12) 横須賀海軍施設部
- (13) 海軍軍需部霞ヶ浦支部本部地区 (14) 海軍軍需部霞ヶ浦支部燃料庫地区

～これまでの取り組みと課題～

これまで当地区では、公共・商業・居住のバランスの取れた良好なまちづくりを目指し、土地区画整理事業等を中心に基盤整備を進めてきました。しかし、生活道路や公園などの身近な公共施設の整備が遅れており、住民生活に支障をきたしている状況となっています。また、以前は旧商店街を中心に賑わいのある地域でしたが、近年は郊外型の商業施設の立地等によって衰退の傾向にあります。

～地域の振興を目指して～

地域の課題解決へ向け、ゆとりある住環境の形成や、歴史的資源を有効利用した観光政策の強化による地域振興を推進していくため、「安全・安心で快適な賑わいのあるまちづくり」を目標に掲げ、平成21年度から「まちづくり交付金」を活用したまちづくりを実施しています。

～主な整備の概要～

- 良好な住環境の形成によるゆとりあるまちづくりのための事業

◆町道整備 (17 路線)

狭小な生活道路を整備し、安全で快適な地域づくりを目的としています。

◆街区公園整備 (4箇所)

憩いやコミュニケーションの場を提供し、質の高い住民生活の向上を目的としています。

◆公園ワークショップ

地域のニーズにあった愛着のある公園とすることを目的に、街区公園の計画策定について住民との協働によるワークショップを開催しています。

◆町民の森指定検討調査

町民の森の指定など、町景観条例に基づく魅力ある景観づくりを推進しています。

- 歴史・文化を活用した賑わいのあるまちづくりのための事業

◆霞ヶ浦平和記念公園整備 (近隣公園)

霞ヶ浦湖畔に整備する当公園内には、歴史的資源である「予科練」を伝承する「予科練平和記念館」が建設され、平成22年2月に公園と一体的にオープンしました。この記念館を活用した事業などを実施し、観光客の増加とあわせて地域の振興を目指します。



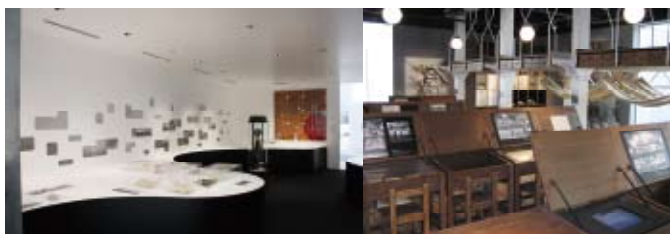
【霞ヶ浦平和記念公園の鳥瞰図】



【予科練平和記念館】

「予科練」とは「海軍飛行予科練習生」及びその制度の略称であり、「予科練平和記念館」は、予科練を主体とした戦史の記録を保存すると共に次世代へ伝承し、学習や交流をとおして新しい未来を創造するために活用する場です。

公園との一体的整備により、様々な活動の拠点として地域振興に貢献することが期待されています。



【予科練記念館内】

館内は予科練の制服である「七つボタン」をモチーフに7つのテーマと空間から構成された常設展示場と、企画展示や講演会、研修会等、様々な事業を展開できる「20世紀ホール」、情報の場としての「情報ラウンジ」などの施設で構成されています。地域の戦史や予科練史をとおして、平和な社会の実現に寄与すると共に、地域の活性化につながる重要な施設であります。



【公園ワークショップの様子】

30名の地元住民の方々に参加を頂き、8月から4回に亘るワークショップを開催しました。参加されたメンバーからの様々な意見や話し合いにより、地域に密着した公園が計画されました。



【ワークショップで検討した公園の計画図】

公園名：(仮称) 岡崎第一街区公園

テーマ：遊びと憩いの公園

コンセプト：既存樹木を活かしたみどりの空間と遊びの広場が融合した公園

＜問い合わせ先＞

阿見町 都市整備部 都市計画課
TEL 029-888-1111 (内線242)